

大伴小だより

富田林市立大伴小学校 令和3年9月28日（火）10月号

「分断」ではなく「つながい」を！

感染力の強い変異株の拡大により2学期当初しばらく、悩ましい日々を過ごしていました。保護者の方から「家族と親しい方や職場の方が陽性者または濃厚接触者になったが今後どうすべきか」「家族にエッセンシャルワーカーや高齢者がいるので子どもの登校を少し見合わせたい」などのご相談が少なからずありました。内容は様ではないので、対応もケースバイケースなのですが、れんらく う たび かぞく とまど なや ふか じっかん なかみ おおむ まわ めいわく 連絡を受ける度にご家族の戸惑いや悩みの深さを実感します。その中身は概ね、「周りに迷惑をかけないようにしたい、と同時に、全く悪くない子どもにしんどい思いをさせてしまっているのが辛い」といったもので、その悩みの深さ、切なさから目頭が熱くなることもしばしばあります。

さいわ こ きわ れいせい かんせんしょうたいさく いっそう き ふだん がっこうせいかつ お つ 幸い子どもたちは極めて冷静で、感染症対策に一層気をつけながら、普段の学校生活を落ち着いて過ごしています。す こ こ いろいろ きづか おも 子どもたちはきっと、子どもなりに色々なことに氣遣ってくれているのだと思います。がっきゅう がくね なかま おおともしょうがっこう あた みま おも 学級や学年の仲間、そして大伴小学校を温かく見守っているのだと思います。

2学期以降の緊急事態宣言中、またそれ以前でも、市内小中学校では校内における感染拡大は確認されておらず、現在の感染症対策を講じながらの教育活動が、今のところ功を奏しているのではないかと考えます。かんが ほごしゃ みなさま こさま かぞく あんぜん いちばん かんが いただ れいせい 保護者の皆様もお子様やご家族の安全を一番に考えて頂きながらも、冷静なご対応を是非、お願い申し上げます。心配なことがございましたら、ご遠慮なく学校にお問い合わせください。

また、9月27,28日に予定していた5年生臨海学舎は、9月の早い段階で延期(11/30,12/1)とさせて頂きました。5年生の子どもたちも、今の社会状況を理解し冷静に受け止めてくれているようです。10/30(土)に予定している運動会も、感染状況によっては延期や中止もあり得ます。お こ あんぜん こころ け あ だいいち かんが ぜんごさく けんどう 何が起こっても子どもたちの安全と心のケアを第一に考え、善後策を検討していくつもりです。

ところで、前月号で東京オリンピックでの日本選手の活躍について述べました。そのオリンピックでは、かいいんせいこうりゅうさいと つう せんしゅ たい ひばうちゅうしょう おお もんだい 会員制交流サイト(SNS)を通じた選手に対する誹謗中傷が大きな問題となりました。たっきゅうこんどうだぶる す きんめだる かがや みずたにせんしゅ ぼうげん か こ たいそうだんしこじんそうごう てつぼう 卓球混合ダブルスで金メダルに輝いた水谷選手は暴言を書き込まれ、体操男子個人総合と鉄棒

で2つの金メダルを獲得した橋本選手も採点に難癖をつけるコメントを寄せられ、サーフィン男子銀メダルの五十嵐選手はジャッジに対して中傷されたようです。オリンピック開幕前には新型コロナが再拡大した時期に、競泳女子の池江璃花子選手に代表辞退や開催に反対するよう求める声

がSNS上で寄せられ、池江選手がツイッターで「私に反対の声を求めても、私は何も変えることができません」と戸惑いを訴えたこともありました。

反対に、東京オリンピックはコロナ禍により報道規制が強化されたため、選手村の状況などは選手や関係者のSNSからの発信が頼りでした。試合後には選手からファンや支援者らに対する感謝の気持ちも伝えられ、選手を身近に感じる手段として大きな役割を果たしました。海外の選手の事前合宿を受け入れたホストタウンでは期待していた交流事業がコロナ禍で実現しませんでした。自治体関係者が応援メッセージや動画等を、SNSを通じて受け入れ選手に送り応援していました。

だいいれくと ひとびと きも りてん ダイレクトに人々の気持ちをつなぐ利点があるから、選手もファンもSNSを大切にしていることは間違いないでしょう。ただ、しあいご こうようかん つつ なか しつゐ なか おも 試合後の高揚感に包まれている中で、あるいは失意の中で、思わぬ暴言を浴びせられることが、せんしゅ きず そうぞう かた どんなに選手を傷つけるかは、想像に難くありません。

ほんこう ねっとげーむ じどうどうし とらぶる ねんかんすうけん お 本校でもSNSやネットゲームによる児童同士のトラブルが年間数件起こっています。5月に6年生に実施された全国学力調査児童質問紙において本校は、「将来への展望や正義感、仲間との協力等」の項目で肯定的な回答が非常に多く、児童が健やかに成長していることが表れた一方、けいたいでんわ すまほ コンピューターの使い方について、いえ ひと やくそく まも「携帯電話・スマホやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」「平日1日当たり、テレビゲーム(コンピューター、携帯式ゲーム、スマホゲーム含む)を3時間以上する」が全国や府と比較して大きな課題が見られました(結果概要プリント9/14配付済)。

すまほげーむ つか かた ねっとりてらしー ずいじ じどう しどうけいはつ スマホやゲームの使い方、ネットリテラシーについては随時、児童に指導啓発しています。ただ、こさま じっさい しどう みまも るーるづく かてい きょうりょく うま お子様への実際の指導や見守り、ルール作りについてはご家庭の協力がなしでは上手くはいきません。ひと ひと べんり つーる つか ひと ぶんだん にく あお つか 人と人をつなぐとても便利なツールを、人との「分断や憎しみ」を煽ることに使うのではなく、ひと ゆた じどう たにん こころ きず かがいしゃ りふじん 人との「豊かなつながり」になるように、児童が他人の心を傷つける加害者にならず、理不尽なこ

い くる ひが い ねっとなど てきせつ つか かた おし とを言われて苦しい被害にもあわないように、SNSやネット等の適切な使い方を教えていくのが大人の務めであると考えます。

おおともしょう こ やさ あたた わたし きょうしよくいん じまん こ 大伴小の子どもたちは優しいです、温かいです。私たち教職員にとって自慢の子どもたちであり、じまん がっこう じまん ちいき ぜ ひ ぶんだん たいせつ 自慢の学校であり、自慢の地域であります。是非、「分断」ではなく、「つながり」を大切ににんげんかんけい がっこうしゃかい ちいきしゃかい ねが ほごしゃ みなさま わたし きょうしよくいん する人間関係、学校社会、地域社会であってほしいと願います。保護者の皆様と私ども教職員がちから あ じどう あんしん あんぜん ゆた せいかつ おく しえん ねが いた 力を合わせ、児童が「安心」「安全」で「豊かな」生活が送れるよう、ご支援をお願い致します。